



議会だより

2012

No. 90

題字は南端中3年 ^{みうら}三浦 ^{まな}真愛 さんです

平成24年 11月 1日 (年4回発行)

発行：大分県日出町議会

電話：73-3135



目次

9月定例会

- 平成23年度決算..... 2
決算特別委員会
- 常任委員会..... 4
総務委員会・産業建設委員会・社会厚生委員会
- 町政全般を質す..... 7
一般質問
- 先進地に学ぶ..... 13
行政視察研修
- 町民の声..... 14



議員が編集した
手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

元気ハツラツ健康が一番 (日出町老人クラブ連合会ゲートボール大会)

23年度決算

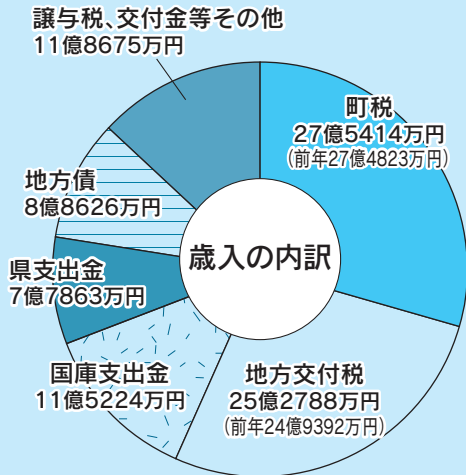
学校施設耐震化の前倒しで増額

平成23年度決算は、決算規模において歳入、歳出ともに4.1%の増加となりました。東日本大震災の教訓を得て、豊岡小学校や川崎小学校など大規模災害時避難場所にも指定されている学校教育施設の耐震化事業を前倒しして実施したことが増加の主な要因です。

平成23年度一般会計決算内訳

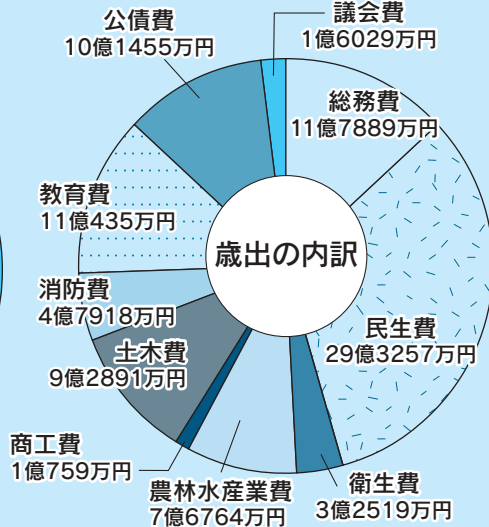
歳入総額

92億8590万円



歳出総額

90億5435万円

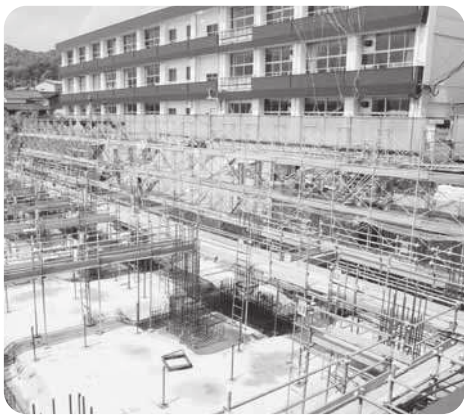


9月定例会

9月定例会が9月6日から28日まで23日間にわたり開催され、議案14件、承認1件、認定2件、報告2件、陳情1件を審査しました。定例会初日には、工藤義見町長が所信表明を行い、3期目の町政の基本的な考え方を述べました。一般質問は6人の議員が登壇し、町長3期目の町づくりや町政の懸案事項を質しました。また、23年度一般会計・特別会計・水道事業会計について、決算特別委員会を設置し集中審査、すべて原案通り認定しました。

歳出90億円超えは10年ぶり

豊岡小学校校舎改築工事、川崎小学校校舎耐震補強工事など普通建設事業は、10億6657万円となり、前年度対比で1億9630万円の増額になりました。その他積立金、貸付金を除くすべての経費が増加し、12年度以来、決算額が90億円を超えています。



改築工事中の豊岡小学校

町税収入は15年度以来の低水準

町税の決算額は、27億5414万円で前年度対比591万円の増加となりましたが、昨年同様15年度以来の低水準となっています。

町税収入の決算推移



歳入は繰入金増加

経済情勢はよくなり、今後も楽観視できませんが、町税は、昨年度並みを確保することができました。また、国庫支出金は、普通建設事業の増加や子ども手当により増加し、一方で臨時財政対策債の大幅な減少を補うため、やむなく財源調整として基金の繰り入れを行っています。

決算特別委員会

基金の総額は、23年度中の積立金額と取崩金額の差額6625万円増額となり、20億円を超えました。

町債現在高は、一般会計で2180万円増加しているものの、特別会計が順調に減少しているため、総額では前年対比1億9241万円減になりました。

基金は増、町債は減

基金（町の預金）の状況

	22年度	23年度
財政調整基金	10億4590万円	10億4843万円
減債基金	5億1940万円	4億8666万円
特定目的の基金		
公共施設整備基金	1億 円	2億 円
地域福祉推進基金	2億 726万円	2億 743万円
教育振興基金	6022万円	6287万円
その他	3722万円	3092万円
合計	19億7005万円	20億3630万円

町債（町の借入金）の状況

	22年度	23年度
一般会計	92億 6万円	92億2195万円
特別会計	54億5676万円	52億4256万円
合計	146億5692万円	144億6451万円

特別会計歳出決算

	22年度	23年度
国民健康保険	29億2543万円	30億7094万円
簡易水道	897万円	1034万円
公共下水道事業	8億 514万円	7億8965万円
老人保健	50万円	2279万円
漁業集落排水事業	3461万円	3675万円
農業集落排水事業	3713万円	4030万円
介護保険	21億6255万円	22億5755万円
後期高齢者医療	2億4902万円	2億5041万円



財政改善に取り組んでいます（財政課）

国民健康保険特別会計は、昨年同様入院・入院外等各項目とも、件数、費用額が増加し、前年度対比1億4551万円増加しました。昨年からの介護・医療経費は合計で50億円オーバーとなり、日出町は大幅な医療費の伸びを抑制することが最大の命題となっています。

国保会計ついに30億円



内臓脂肪測定（かれい祭り会場にて）

水道事業会計決算

給水人口は2万5256人、総排水量は3536千m³。経営成績は、総収益3億7556万円に対し、総費用は3億1318円で、差し引き6237万円（前年度対比33.3%増）の純利益を計上しています。経営状態は昨年度に引き続き健全性を保持しているといえます。

農産物加工施設建設に補助金

一般会計補正予算は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ、1億8980万円を追加し、補正後の総額を97億7161万円としています。



JA倉庫を加工施設に（川崎）

予算委員会は、一般会計と2特別会計、水道事業会計補正予算を慎重審査し、3日間にわたり、すべての予算を原案通り可決しました。

主な歳出

災害被災者支援

九州北部豪雨の被災者に住宅再建支援(専決)
1020万円

公民館に防災備品

大規模災害時に避難所となる各地区公民館など7カ所に備蓄用防災倉庫を設置し、防災資機材や毛布、テントな

ど備蓄物資を常備

1269万円

ポリ才個人接種

ワクチンの集団接種から個人接種にするための委託料(町単独費用)

1968万円

地産地消の推進

JAべつぷ日出農産物加工施設の整備を補助し、農業者の所得向上と雇用の創出を図る(町補助は施設本体工事費の50%)

1650万円

畜産家支援

優れた若雌牛を購入する経費を補助し、肉

用牛繁殖の経営支援を図る

124万円

農業施設の災害復旧

記録的な梅雨前線豪雨による農地(4件)、農業用施設(12件)災害復旧事業の工事請負費

2734万円

FMで観光アピール

緊急雇用創出事業補助金を活用し、町のイベント、観光施設、特産品などの情報をFM大分の番組で発信。毎週木曜日午後3時から放送し、来年の3月末まで

1039万円

土木関連経費

道路新設改良費や道路橋梁等災害復旧費、河川災害復旧費の測量設計費と工事費

5100万円

公民館の新築補助

社会教育総務費として辻の尾自治公民館の新築に対して補助

299万円

議会提案で条例づくり

議会改革調査特別委員会

9月25日開催。現在の水道水源保護条例や土砂条例は、県条例に先行され拘束力を発揮できないことが多いため、条例の改定や制定は急務。その他まちづくりに関する条例も含めて、議員自らが自らの発案でつくる条例を提案できる環境づくりについて集中して審議しました。

弁護士を交えて

議員勉強会

8月17日、町の顧問弁護士ごしょうはろくしよの古庄玄知氏をお招きし、豊かな自然や水道水源を守り、快適な住環境を維持するための条例改正や整備について勉強会を開催しました。会では、産廃処分場や墓地を町独自で規制するためにどうすればよいかなど議論しました。今後も継続して調査研究を行っていきます。



法的問題を熱心に質問

常任委員会

総務

議案の審査結果

防災会議の委員の変更

委員数を増やし、新たに自衛隊員などが入りま
す。今年度中にメンバー
を決定。

老人ホームを民間に

別杵速見広域圏組合の
「広寿苑」（杵築市山香町）
を太陽の家に移管・譲渡
しました。

跡地・園舎を譲渡

藤原赤松地区の旧藤原
幼稚園分園を区に無償で
譲与します。

以上全会一致で可決し
ました。

防災協定締結を要請

町内の高層ホテルやピ
ルとの災害時の避難協定
を結ぶよう要請しました。
海抜表示板もまだ足りな
いのではとの意見も出ま
した。

コミュニティバス運行

開始



コミュニティバス出発式

10月1日からの運行に
備え、施行規則が提出さ
れ審査しました。運賃の
減額・免除の条件などが
明記されています。

工事などの発注状況

今年度の発注済は契約
件数は38件、3億825
9万円です。金額で55%
の進捗率ですが、年度末
に工事が集中しないよう
要請しました。

閉会中の審査

8月22日開催

コミュニティバス

運行は祝日も行います。
現行の国東観光バスも事
業に賛同して200円区
間を6路線としています。
（国東観光バスは日・祝
日連休）

町有地を売却

今年度の町有地の売却
状況は国道10号線拡幅
などにより5件で190
8万円です。

空き屋バンク利用低調

開始以来貸し手側から
の希望は無く、借りたい

人は2件です。利用促進
のためには空き屋の家具
の保管などに配慮する必
要があります。

産業建設

議案の審査結果

南端小・中学校の 周辺整備を求める陳情書

県道から小・中学校ま
での道路拡幅と駐車場の
整備などを望むものです。
地域の方も学校を利用す

る機会が多いことから、
全会一致で採択しまし
た。

〈現地視察〉

複合遊具を大田公園に

プロポーザル方式によ
り、指名業者6社から提
案書の提出があったので、
現地視察を行いました。
今後は、保育園・幼稚園
の園児と日出小学校の生
徒にアンケートをとり、
審査委員会で厳正な審査
のうえ随意契約を行い、
来年2月の工事完成を目



みんなが集える公園に（日出 佐尾区）

指します。

閉会中の審査

最新鋭のハモの骨切機

ハモの漁獲量増加に伴い、地元での消費拡大につなげるため、県内で唯一ハモの骨切機のある佐伯市の『大分県漁業組合水産加工処理施設』を視察しました。総事業費3億8千万円をかけた施設は、衛生管理から一連の



ハモの骨切機を視察

加工の流れまで徹底され、あらゆる需要に対応できるように充実した施設でした。日出町漁協が販路をどのような形でどこまで拡大するのかによって、設備投資の規模や方向性を見出すべきだと考えます。

社会厚生

議案の審査結果

医療費の現物給付

条例の改正

日出町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の制定です。本年12月1日からひとり親家庭などの医療費補助を、償還給付から現物給付へ変更します。

物品の購入

日出小学校の、教育用コンピュータ（デスクトップ型・45台）機器を996万円で更新します。全会一致で可決しました。

閉会中の審査

8月3日開催

〈現地視察〉

産廃施設に申し入れ

関西方面からの産業廃棄物を中間処理している、藤原の事業所に対し、現地視察を実施しました。



制震工事と壁面調査中の日出中学校

運び込まれた廃棄物が屋外処理で、直接風雨にさらされているため、雨水が直接外へ流れないように、県と事業所に対し、申し入れ書を提出することになりました。

県に事業所に対する改善指導の申し入れをしたところ、10月末までに県の廃棄物対策課が善処する旨の回答でした。

豊岡小学校の校舎改築

（株）さとうベネックが8月20日に手形の不渡りを出して以降工事が中断し

ており、今後の対応は、残工事の入札と契約を、10月下旬までに実施予定です。遅くとも今年度中の完成を強く要望しました。

日出中学校の耐震すむ

部材の取り付け位置にアンカー打ちなどの工事をして、制震補強部材の取り付けが11月下旬の予定です。耐震スリット入力は73力所になります。

外壁改修については、調査を終え図面作業に入ります。

一般質問

Q&A ここが知りたい



工藤 健次 議員
(大神地区)

問 3期目の町政運営は

答 協働で育む町づくり

問

3期目の町政運営の基本的な考えをお聞かせ下さい。

町長

初心に立ち返って誠意、公正に町政発展と町民福祉の向上のために努力し、人口3万人を指します。

1期目は、財政の健全化を最優先し行財政改革

に取り組み、2期目は、「人と自然が調和したふれあいと活力あるまちづくり」をテーマに進めてきました。

この間、円滑な町政運営のため行政組織の再編整備、事務事業の見直し、職員の意識改革などを通して、住民サービスの徹底、福祉の充実を図り一定の成果を上げることができました。

3期目は、「協働で育む元気発展の日出町」をスローガンに掲げ、これまでの町政運営の方針を引き続き念頭に置きながら、町民の皆さん方と積極的にまちづくりに取り組みます。

問

道半ばの事業とは、どの事業ですか。

町長

全てが道半ばです。財政の健全化のため、自主財源の確保や企業誘致を促進し、交流人口を増やし福祉施策の充実を図り

ます。また商工会、農協、漁協との連携・協力などに取り組み、多くの課題、問題がある中、「住んでよかった、住みたくなるまち」を目指し、今後引き続き各部門にわたって努力します。

問

総仕上げの町政、スピード感がないことへの考えは。

町長

仕事はスピード感を持つてやるよう常日ごろから機会があれば言っていますが、スピード感のなさは十分実感しています。職員と一体となって形が見えるように努力します。

総合的な交通体系の整備を

問

日出駅前周辺は、総合的な交通体系の整備が必要と思いますが、町長の考えは。

都市建設課長

日出駅前交差点の改良



改良が望まれる豊後通運前

生活環境の整備は最優先すべきと思っています。

は、本年2月より継続的に日出警察署や別府土木事務所と協議を行っています。

豊後通運前や蓮華寺前交差点は、道路施策の重点地点として今後も強く県などの関係機関に要望していきます。寺町線も周辺関係地権者の方々に、基本的な合意を図るよう現在も努力しています。

町長

進んでいないのが実状で、道路行政、環境行政

質問を終えて
関係機関には、ねばり強い交渉を

問 区長を特別公務員に位置付けは？



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

答 基本的には今までと変わりません

問

町長が3選の抱負の中で、区長を委嘱し地域ぐるみで取り組む体制を整えると言っています。その役割と任期、報酬、選出の方法は。

総務課長

役割は基本的に同じで、任期は1年、人件費から報酬を支払い、各区の総会で選出された方を委嘱

問

現在の区長との違いは、

総務課長

町の非常勤職員となり地位を明確にします。

公務上負ったケガは公務災害となります。

高すぎる国民健康保険税の引き下げを



協働でまちづくり (区長会総会)

問

現在の国保加入世帯、滞納世帯、保険証を止めている世帯、短期保険証交付、差し押さえの各世帯数は。

健康増進課長

加入は3991世帯で現年度分と過年度分を合わせて880世帯が滞納です。保険証を止め、資格証明書を発行している

のは133世帯。短期保険証交付は472世帯です。また差し押さえは預貯金が3世帯、年金は1件です。

問

所得200万円の4人家族で、国保税と介護保険で収入の20%を超えま

町長

す。過去に国保税の引き下げを質問した際、町長は検討すると言ってきましたが、生活ができない状況をどう解決しますか。大変難しい質問です。一市町村や一都道府県で解決できるのでなく、国の制度の問題だと思っています。

問

大分トリニータの支援に応じるのか

県の要請に応じなければならぬ理由とそのメリット、財源は。

総務課長

市町村の振興発展に寄

与するなどの観点から判断し市町村会で心じます。町民へ夢と希望や元気を与え、地域の活性化、経済効果が考えられます。宝くじの収益金を財源とします。

問

今後他のプロチームから要請があった場合応じますか。

総務課長

応じるつもりです。

質問を終えて

町長は町民の立場になって国保の問題を解決すべき。

3期目 産業振興の抱負は

問



佐藤 二郎 議員
(大神地区)

答

環境条件に 磨きをかけます

で行う6次産業化を、生産者や農漁協と相談しながら取り組んでいきたいと考えています。

商工観光課長

商業振興は、高校跡地のグラウンド部分に複合商業施設を誘致し、併せて駅舎移転と駅前広場の整備を進めることにより、町民の利便性や中心市街地の賑わいが増すと考えています。今後とも町の有利性を生かし、企業適地の調査を進めて、さらなる企業誘致に努めていきます。

問
3期目を担当されるにあたり「日出町総合計画」にある活力あふれるまちづくり、特に産業振興の抱負は。

農林水産課長

農・漁業振興は現在、高齢化や後継者不足、資材の高騰や価格低迷で厳しい経営が続いています。今後は、生産から加工ま

かり生かして磨きをかけ、それぞれの部門で精いっぱい努力をさせていただきます。

陽谷駅自由通路不要

問

駅舎整備と南北自由通路を計画していますが、自由通路は不要ではないですか。費用対効果はなく、完成後の管理に多額の費用がかかります。

町長

乗降数も増えています

し、今後、高校跡地グラウンド部分に中核的な複合商業施設を設置しようと考えています。また、駅舎を移動すると地平駅のままでは道路を迂回して上下線ホームに行くことになり非常に不便で、バリアフリーも考慮しながら、南北の一体化を考えたとき、自由通路は必要不可欠であると思っています。

問

土地の無償提供は遺憾

町単独の道路改良は関係住民（地権者）の土地が無償提供されなければ事業着手されない状況が、直近年事業の半分以上あります。町道は公道です。大変遺憾に思います。

町長

今後10年20年経っても改修計画がないところについて、地元の皆さんが力をあわせて何とか道を広くしようというコンセンサスのある了解が取れるところは、皆さんが納得する土地の出し方で、事業実施しています。ご理解いただきたいと思います。

質問を終えて

予算は「町民のお金」無駄の出ない有効な使い方を要望したい。



地元の要望で道路を改良（町道辻ノ尾千騎線）

公金徴収の一元化への取り組みを！

研究チームをつかって調査します



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問

答

問 現在、各課で町民税や保険税、使用料などの滞納分を個別に徴収しています。それを一本化し、専門の部署で集中して行う研究を始めては、メリットとしては、

- ・徴収業務の人件費削減
- ・滞納者の情報の一元化
- ・支払う側の順序、整理

ができる。

などが考えられます。

財政課長

町税などの収入未済額や不納欠損額は増加傾向にあります。納税の不公平感を解消するためにも徴収率の向上は重要で、徴収一元化は、関係各課を横断する研究チームを作り、メリット・デメリットを調査し、可能かを検討していきます。

問

理想としては、生活困窮者や多重債務者への生活相談・指導や関係機関と連携して就労支援までしていただきたい。

財政課長

納税相談の折に、踏み込んだ支援ができていないのが現状です。今後は、滞納者との信頼関係を構築し、支援窓口を利用していない方には関係機関を紹介していきます。

町長

町の徴収率は県下の中で下位にあります。担当職員を強く指導し、納税

相談やコンビニ納入に力を入れていきます。

お祭り、イベントの見直しを

問

かれい祭りがマンネリという声や、糸ヶ浜ビーチフェスタの参加者が減少していることを、どう考えますか。

商工観光課長

マンネリ化は10年くらい前から言われています。実行委員会でも、いろんな課題、意見が出ています。

問

ビーチフェスタは昭和63年に陽谷デザイン会議が始めて、観光協会が引き継いでいます。そのコンセプトは曖昧になっています。

問

かれい祭り実行委員会で見直しが出て改善されないのはなぜですか？ビーチフェスタはビーチバレーに特化したイベントでもいいのでは？



猛暑の中ビーチバレー大会（糸ヶ浜）

商工観光課長

カレイにハモも加えた「食の祭り」として宣伝、更に実行委員会で検討します。

ビーチバレーは以前64チーム出場していましたが、今年は45に減少。見直しを図ります。

問

町の観光客数は実数で発表しては。

町長

実数というのは大変難しいですが、議論してい

きます。

・他に別府に寄港する大型観光船の日出町への観光誘導についての質問がありました。

質問を終えて

将来の財源不足に備え、いち早く徴収の研究に着手するべきでは。

観光施設と 地図のリンクは

問



藤井 博幸 議員
(日出地区)

答

現在進めています

問
ホームページの観光施設と地図のリンク、イベントカレンダーの利便性と情報発信の少なさを以前質問しました。健康増進関係は増加しましたが、町の行事予定などがない、何か掲載基準でもあるのですか。

政策推進課長
現在作業を進めています

ですが、「ひじり」は役目を終え、フェイスブックを開始してからはトップページの「日出町の地図」に観光施設とのリンクをしています。各課のイベントカレンダーへの掲載はまだ足りず、情報の充実を指導していくつもりです。掲載基準は特にありませんが、留意点を設けています。

日出町地域防災計画

問

行動計画や組織図などはできていますが、実際機能させることができですか。

総務課長

災害対策本部は8つの部に分かれ、部ごとの具体的な行動計画は今年度中に策定を進めます。11月16日には(財)消防科学総合センター指導のもと災害対策本部設置運営演習を行い、問題点などを検証し体制整備に努めて

いきます。

問

備蓄品の耐用年数が来る前に一般に払い下げできませんか。

総務課長

安全性に問題が有り、更新時に業者に下取りをしてもらう考えです。

公共下水道について

問

接続率と接続しない理由の調査は。

上下水道課長

接続率は80%以上で特に悪くありませんが、改造費が高額で、高齢者世帯では金銭的な負担などの経済的なことが未接続の理由となっています。

問

普及を後押しする施策を考えていますか。

上下水道課長

改造資金融資制度の活用と広報活動に取り組んでいくとともに、住民の

水洗化に対する意向を反映した計画を考えています。

問

下水道接続における受益者負担金が排水区域の面積比にする理由は。

上下水道課長

受益者負担金が入居者の宅地の面積比で違うのは、広い宅地内にもう一戸建てても加入負担金は一度だけだからです。

質問を終えて

ホームページの情報は過ぎた事よりも予定を重点に、早く。



防災倉庫 (大神小学校)

防災対策は
万全か



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問

さらに見直しが必要
です

答

大分県豪雨災害後、聞き取りや独自で調査した中で教訓にすべき点はありませんでしたか。

総務課長

8月に検証会議が開かれ、担当者が出席をしました。内容は、災害対策本部の役割分担と個人としての行動が明確ではなかったということ、また

マスク対応には事前に担当者を決めておくべきだったということでした。また、防災行政無線の放送が荒天時、室内では聞こえなかったということが挙げられました。これを受けて、町においても早急に1つずつ確立すべく準備を進めていきます。

問

避難所までの経路中の危険箇所は事前に調査をし、住民に周知されていますか。

総務課長

被害想定が変わってくるなどにより、随時、見直しが必要になってくるので、柔軟な対応ができるようにしていきます。

問

全町挙げての災害時緊急避難訓練を実施する予定はないですか。

総務課長

前回、前々回も質問をいただいていますので、やらなければならぬと思っていますが、形式的

な避難訓練では実効性がないと思います。自主防災組織をいくつか重点地区として取り上げ、避難訓練および初期消火訓練を行いたいと考えています。その後、できるだけ早期に全町的な訓練ができるように体制整備と自主防災組織の活性化に取り組んでいきます。

ミストシャワー
の活用

問

熱中症対策として各小中学校にミストシャワーを設置してはいかがですか。

教育総務課長

気化熱によって周辺の温度を下げ、熱中症予防の対策に有効であると考えています。設置は、幼稚園、小中学校の活動状況や、他市町村の設置状況、費用対効果を調査し、状況に応じて検討したいと思います。

期日前投票の
手続きの簡素化

問

入場券の裏に宣誓書を印刷し記入は前もって自宅で済ませ、会場では提出、投票のみにできませんか。

総務課長

会場で記入してもらうのは本人確認の意味も言えます。住民の利便性をとるか、公正な選挙の実施に重きを置くかということになります。また、システムの変更により入



ミストシャワー

場券が小さくなるので宣誓書の印刷は難しいと思います。

質問を終えて

早急に避難訓練の実施を。

先進地に学ぶ

駅舎改修と都市公園整備

産業建設常任委員会

日時

7月24日～26日

研修目的

〈都市再生整備事業〉

陽谷駅の駅舎の移動や自由通路の設置が計画されている中、建設までの経緯、費用の調達、JRなどとの協議経過などを調査するため。

〈都市公園整備事業〉

大田公園に複合遊具の設置が計画されているので、活用状況を研究するため。

奈良県香芝市

(JR志都美駅)

以前は地域が東西に分断されていましたが、現在は駅舎を橋上化し、階段・エレベーターにより自由通路を利用し東西への往来、JRの上下線の利用ができます。しかし整備に掛かる予算規模がかなり大きいうえで、JR



駅改修の費用対効果は？

との協議や取り決めは、かなりの時間と費用を要したとのこ維持管理についても継続的に費用がかかるため、町民への十分な説明と理解が必要です。

和歌山県田辺市

(新庄総合公園)

総面積1、026・77kmの公園内に大型遊具

を2基のほか、美術館・野外音楽堂・森林浴施設もあり、休日には親子連れや若者で大変賑わうそうです。日出町の計画と、公園の面積や遊具の規模は違いますが、利用状況や管理形態、管理費用などを参考にすることができました。ただ、予算範囲内で遊具を購入し設置するだけで果たして町民に本当に喜んでもらえるのか、今後の課題となりそうです。

議会だより88号をクリニック

議会報編集特別委員会

日時

7月30～31日

昨年に続き全国町村議会広報研修会に参加しました。初日は、3人の著名な講師から、

「伝わるわかりやすい文章を書く」

「広報誌におけるレイアウト表現の基本」

「写真の撮り方」と題した講義を受けました。

また2日目の研修「議会広報クリニック」では



全国から600名参加

昨年に続き、議会だより88号の添削を受け、見出しやリード文の重要性、紙面展開やページ編成など微細にわたり指導をいただきました。

今回の研修の指摘を大きな課題と受け止め、町民の方々が手に取り、興味を持って読んでももらえるよう、また一層親しまれる「議会だより」を目指し編集委員全員で努力していきたいと思えます。

町民の声

住み心地の善さを再確認

川崎内野 濱本俊夫



40年近く住み慣れた大分市内から、当地に移住して足掛け11年になります。

県立日出陽谷高校（来年度から、県立日出総合高校に改称）を最後に、定年退職と同時に居を構え、町の風趣が私の性に合っているせいか、未だに別天地の感があります。

その理由は、本町には5つの特色があるからです。私なりに、常日ごろ感じていたことを述べてみたいと思います。

1つ目は、水量豊かな湧水に恵まれていること。2つ目は、気候温暖に加えて風光明媚な景勝地であること。3つ目は、山幸・海幸の食べ物に事欠かないこと。4つ目は、町内に高速道路や国道をはじめ、4力所にわたりJR駅が設置されているなど、交通の便がよいこと。5つ目は、由緒ある城下町

にふさわしい人情豊かな土地柄であること。

以上の事柄から、盛衰のバロメーターと目される人口が、県都・大分市に次いで、増加の傾向にあることからもうなずけます。

目下、多忙を極めています。青少年健全育成の立場から、日出っ子としての自覚と誇りを持たせ、常に夢と目標を見失うことなく、日々努力を積み重ねて行けば、明るい展望が開かれるものと期待されます。故に、地域住民一人ひとりが、交通ルール・マナー等の節度を守り、安全で安心して暮らせる町づくりの寄与することが求められます。

結びに、望むらくは、特急列車がJR駅1力所に……。さすれば更なる人口増…と夢は尽きません。

教育改革に期待します

次の方が新しく選任されました。



青井 和正 氏
(川崎内野)



池田 陽子 氏
(日出団地)



土田 亮治 氏

8月26日の町議会議員補欠選挙において当選されました。

所属

産業建設常任委員会
議会報編集特別委員会
杵築速見消防組合議会

編集後記

今、県道の改良工事が、大神の日出ハイテック前で行われています。急勾配のカーブがかかった約500メートルにもおよび区間で、以前から事故も多発しており、非常に危険度の高い場所です。

子どもたちは危険にさらされながら、朝の通勤時間帯を通学するわけで、一日も早い工事の完成が待たれるところですが、電柱などの移転手続きで工期が二度も延長されて三カ月も延びています。

通学路の安全対策が問題になっているなか、関係機関には猛省を促し工事の安全と早期完成を望みます。

(土藤 健次)

- | | |
|-------|-------|
| 編集委員長 | 森 昭人 |
| 副委員長 | 池田 淳子 |
| 委員 | 熊谷 健作 |
| 委員 | 工藤 健次 |
| 委員 | 藤井 博幸 |
| 委員 | 土田 亮治 |